



美しい 県土づくりNEWS

目次

- 2 復興道路 宮古盛岡横断道路「都南川目道路」部分開通
- 4 「末広町まちびらき式（大槌町）」「大船渡駅周辺地区第1期まちびらき」が開催されました
- 5 宮古市道北部環状線の現場見学会を開催！
- 7 一般国道340号立丸峠工区のトンネル銘板お披露目式を開催
- 9 釜石市・水海海岸水門完成！！
- 10 FDA10号機が岩手県に初飛来！／JAL×ベネッセ体験飛行企画『明日（あした）のつばさ』を開催！
- 11 いわて花巻空港春季台湾との定期チャーター便運航決定！！
- 12 本県への派遣職員の応援に感謝！！

2016年
3月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第140号
平成28年3月31日発行
編集 県土整備企画室



三陸復興

祝 復興道路 宮古盛岡横断道路 都南川目道路（川目～田の沢間）開通！

3月12日（土）に、宮古盛岡横断道路「都南川目道路（川目～田の沢間）」開通式が盛大に執り行われ、川目IC～田の沢IC間の2.6kmが開通しました。



宮古市と盛岡市を結ぶ一般国道106号地域高規格道路「宮古盛岡横断道路」は、震災後、復興道路に位置付け、事業区間の早期全線完成に向けて、国と県によりかつてないスピードで整備を進めています。

土井国土交通副大臣、達増知事、谷藤盛岡市長をはじめ、高橋衆議院議員、主濱参議院議員、山本宮古市長（国道106号地域高規格道路整備促進期成同盟会会長）、川瀧東北地方整備局長、川目小学校の児童の皆さんほか御来賓の皆様による「テープカット」と「くす玉開き」の様子

復興道路 宮古盛岡横断道路「都南川目道路」部分開通

～ 築川道路と接続し、一体となって宮古・盛岡両地域の交流・連携を促進～

道路建設課

平成28年3月12日（土）に、盛岡市川目の田の沢インターチェンジ付近本線上にて、**宮古盛岡横断道路「都南川目道路（川目～田の沢間）」**開通式を国、県、盛岡市の共催で開催しました。

式典では、土井亨国土交通副大臣から「震災の教訓を踏まえ、横軸の重要性がクローズアップされ、地元の要望も大きく貢献し、復興道路の新規事業着手に結びついた。宮古～室蘭間のフェリー定期航路開設も決まり、復興道路の早期開通に向け、地元と一緒に取り組む」、達増拓也知事から「フェリーと連携した物流の強化や、重点道の駅である道の駅『たろう』との連携による三陸沿岸と内陸部の周遊観光の強化が期待できる」、谷藤裕明盛岡市長から「地方創生のモデル地区となるよう、内陸・沿岸部の広域連携を一層深め、経済活性化に向けた事業展開を行っていく」と、それぞれ挨拶されました。



土井亨国土交通副大臣



達増拓也知事



谷藤裕明盛岡市長

また、「地域の声」として、山田町のコネクタ製造会社である株式会社エフビー田鎖健一代表取締役社長から「我々だけでなく**全産業において期待が大きく、何よりも被災地復興の加速が期待**できる。子供たちがこの道路からたくさんの可能性を見出し、地域へ貢献してくれると願っている」、岩手県建設業女性マネジメントスタッフ協議会宮古支部の南館圭さんから「震災直後、地元の建設業の方々が道路のガレキを除去する姿を見て心を打たれた。**当たり前にあった道路の大切さを知った**。距離の壁によりやりたいことを諦める子供もいる。**未来の子供たちの夢を運ぶ道として早期完成を望む**」とそれぞれ発表されました。



株式会社エフビー
田鎖健一社長



岩手県建設業女性マネジメント
スタッフ協議会 南館圭さん

その後、開通アーチ前に移動し、来賓の方々のほか、地元の川目小学校の皆さんも加わり、開通のテープカットとくす玉開きが行われ、その後、開通パレードが行われました。

会場では、パネル展示や、盛岡吹奏楽団による演奏、地元の郷土芸能「高館剣舞」の披露、米内中学校の文化祭で生徒さんたちが演じた『かけはし』（江戸時代に牧庵鞭牛和尚（ぼくあんべんぎゅうおしょう）が閉伊街道（現在の国道106号）を切り拓いた逸話を題材として全校で演じたもの）のビデオ上映がされたほか、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会のマスコットである「わんこきょうだい」や盛岡市の「開運かなえちゃん」、宮古市の「サーモンくん」のゆるキャラたちも駆けつけ、式典の盛り上げに一役買っていました。



開通パレード



川目小学校の皆さんなど
地元の子どもたちとゆるキャラたち



高館剣舞



盛岡吹奏楽団による演奏

一般国道 106 号地域高規格道路「宮古盛岡横断道路」は、復興計画において復興道路に位置付け、国と県により事業を進めています。

都南川目道路は、平成9年度に国の直轄権限代行(※1)として事業化され、鋭意整備が進められています。今回開通した区間は、計画延長6.0kmのうち宮古側の川目IC~田の沢IC間の2.6kmで、残る田の沢IC~手代森IC間は、平成31年度に開通の見通しです。開通区間の維持管理は、国道106号の道路管理者である県が行っています。

本路線の整備により、宮古・盛岡間の所要時間の短縮、定時性の向上、緊急時・災害時の信頼性の確保などの直接的な効果のほか、産業振興や観光振興などの様々なストック効果が期待されます。

都南川目道路は自動車専用道路(自専道)であり、自動車やバス、トラック等は通行できますが、歩行者、自転車、軽車両、二輪車(125cc以下)は通行できません。宮古側の川目ICでは、一般道の築川道路に直接接続していますので、特に宮古方面から盛岡方面へ通行の際は、自専道への誤進入に御注意ください。

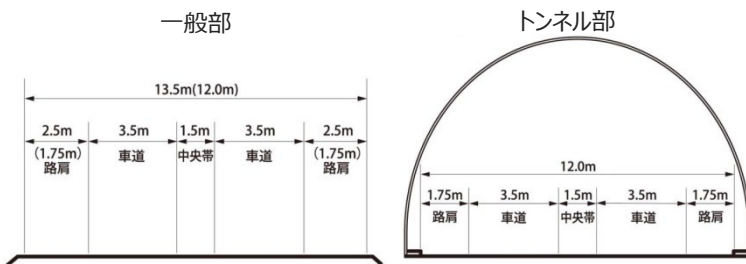
なお、都南川目道路を含め、県内の復興道路は無料(※2)で通行できます。

- ※1 道路法及び同施行令の規定により、県管理の国道の新設・改築を国が県に代わって行うこと
都南川目道路のほか、震災後、宮古箱石道路、区界道路など県内計6区間で事業中
- ※2 東北横断自動車道釜石秋田線「東和IC~花巻JCT」間を除く

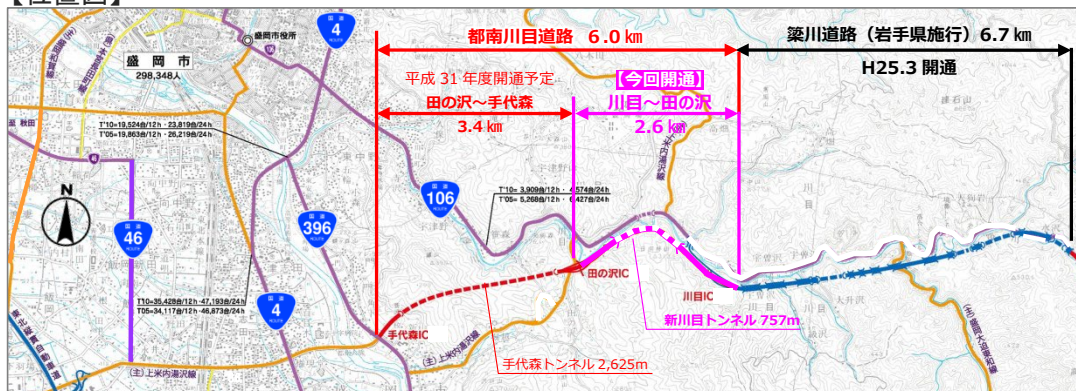
「都南川目道路の概要」

- ・ 計画延長 6.0km (うち今回開通 2.6km)
- ・ 計画幅員 13.5m~12.0m (2車線)
- ・ 構造規格 第1種 第3級 (自動車専用道路)
- ・ 設計速度 80 km/h ※規制速度は当面 70 km/h
- ・ 全体事業費 257 億円
- ・ 主な構造物 新川目トンネル 757m (今回開通)
手代森トンネル 2,625m

【標準横断面図】



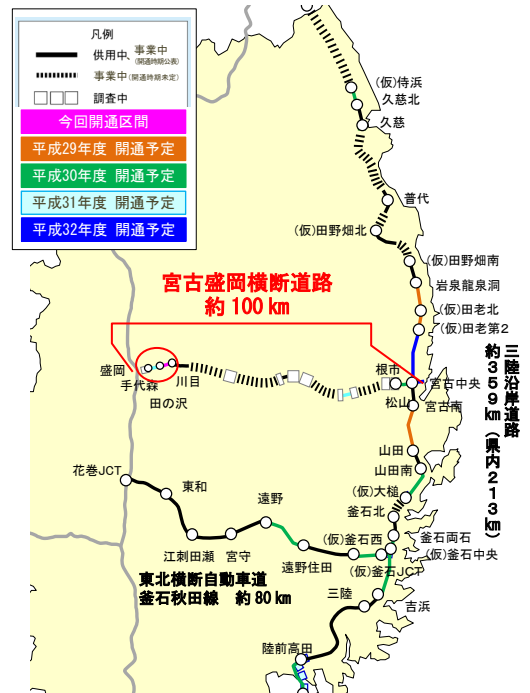
【位置図】



開通後の状況 (田の沢IC付近)



開通後の状況 (川目IC付近)



「末広町まちびらき式(大槌町)」が開催されました ～住宅再建のための宅地整備が進んでいます～

都市計画課

3月12日(土)に、「町方地区震災復興土地地区画整理事業地内末広町」の一部が完成の運びとなり、大槌町、UR都市再生機構、町方地区震災復興事業JV主催による「末広町まちびらき式」が開催されました。まちびらき式では、国、県、大槌町、地元関係者、工事関係者等約120名が出席し、まちびらきを祝いました。

また、当地区では、災害公営住宅も同時に完成し、4月1日(金)から入居予定となっています。今後、末広町の一部では、宅地整備の完成により住宅再建が促進されます。



まちびらき式の様子



完成した災害公営住宅

「大船渡駅周辺地区第1期まちびらき」が開催されました ～津波復興拠点整備事業の基盤整備が進んでいます～

3月13日(日)に、東日本大震災で大きな被害を受けた大船渡駅周辺地区において津波復興拠点整備事業における先行地区の基盤整備が概ね完成したことから、大船渡市、UR都市再生機構、大船渡駅周辺地区震災復興事業JV主催による「第1期まちびらき」が開催されました。式典では、国、県、大船渡市、地元関係者、工事関係者等約500名が出席し、まちびらきを祝いました。今後、当地区では、基盤整備の完成により、商業施設等が順次オープンする予定です。



まちびらき式の様子



【復興関連道路】

宮古市道北部環状線の現場見学会を開催！

～平成28年度の開通を目指し全力で事業推進中！～

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

県が「復興関連道路」として宮古市山口～佐原間（計画延長L=2.3km）で整備を進めている宮古市道北部環状線において、宮古市立山口小学校の復興教育の一環として、3月2日（水）に、現場見学会を開催しました。



橋の上で事業説明



床版へのペイント状況



現場見学会には、宮古市立山口小学校の5年生約30名が参加し、当該道路の事業計画や整備効果等を学んだ後、今回の見学会の記念として、現在工事中である山口地区橋梁（L=149.0m）の床版（舗装の下にある厚さ約20cmの鉄筋コンクリートの板）に児童の「復興への思い」等をペイントしていただきました。



橋の上で記念撮影



ペイントされた「三陸復興」という文字が色鮮やかに！

ペイントは、「三陸復興」となぞられた大きな枠の中に行い、児童が思い思いに描いたペイントの集まりが色鮮やかな「三陸復興」という大きな文字に生まれ変わりました。また、見学会終了後には、記念として作成したポスターを宮古市立山口小学校へ提供しました。



作成・配布したポスター

今回のペイントは、橋梁の舗装工事が進むと見えなくなりますが、橋梁完成後も舗装の下に残り続けますので、児童がこの道路を通る度に今回の体験を思い出し、身近な社会資本として感じていただくとともに「復興への想い」が一層強くなることを期待しています。

県では、今年を「本格復興完遂年」と位置付け、復興を強力に推し進めております。宮古市道北部環状線の山口～佐原間については、平成28年度の開通を目指し、安全に万全を期し、全力で工事を推進しています。

なお、現場見学会の希望がある場合は、宮古土木センター道路整備課までお気軽に御連絡下さい。

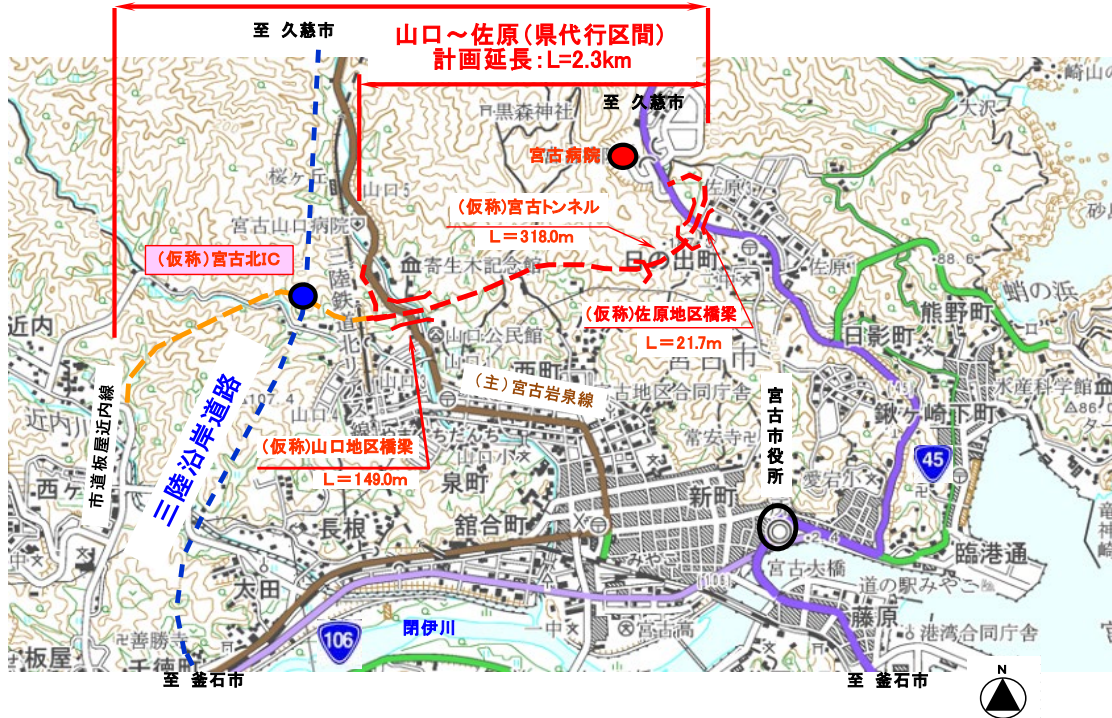
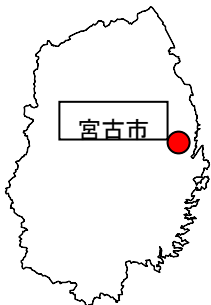
宮古土木センター道路整備課
電話番号 0193-64-2221

【宮古市道北部環状線の事業概要】

- ・宮古市街地の北側を通過し、国土交通省が施工する三陸沿岸道路宮古北ICと一般国道45号を連絡する道路として、三陸復興道路整備事業における復興関連道路に位置付け。
- ・国土交通省が施工する三陸沿岸道路等の復興道路と一体的に整備することにより、宮古市内の交通混雑を緩和し、岩手県立宮古病院へのアクセス向上等を推進。
- ・山村振興法に基づく権限代行により、岩手県が山口～佐原を整備中。

宮古市道北部環状線 計画延長：L=3.6km

【位置図】



【復興支援道路】

一般国道340号立丸峠工区のトンネル銘板お披露目式を開催

～ 立丸峠工区のトンネル名称が決定し宮古市立川井小学校児童が書いた銘板が完成 ～

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

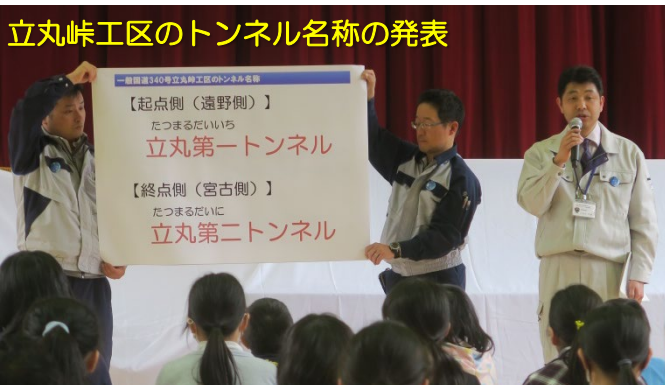
県が「復興支援道路」として遠野市土淵町栃内～宮古市小国間で整備を進めている一般国道340号立丸峠工区については、現在、2箇所のトンネル工事等を進めています。

県では、立丸峠工区のシンボルでもある2箇所のトンネルについて、遠野市及び宮古市の意見等を踏まえ、起点側（遠野側）の（仮称）大峠トンネル（L=1,839m）を立丸第一トンネル（たつまるだいいちトンネル）、終点側（宮古側）の（仮称）小峠トンネル（L=920m）を立丸第二トンネル（たつまるだいにトンネル）に決定しました。これは、立丸峠には「大峠」、「小峠」の2つの峠があり、それぞれの峠を貫く両方のトンネルに「立丸」の名称を入れたい、という地元の意見等を踏まえて決定したものです。

宮古側の立丸第二トンネルは、トンネル本体工事が概ね完了し、銘板を取付ける段階まで工事が進みました。立丸第二トンネルの銘板は、地域の将来を担う宮古市立川井小学校児童の皆さんに文字を書いていただき、この度、銘板が完成したことから、川井小学校体育館でお披露目式を開催しました。

お披露目式には、県、遠野市、宮古市、川井小学校児童、地域住民等約100人が参加し、県から立丸峠工区のトンネル名称を発表した後、銘板の文字を書いた川井小学校6年生の児童5人と関係者で除幕を行い、完成した立丸第二トンネルの銘板が姿を現しました。

銘板の文字を書いた川井小学校児童からは、「最初の着工式から最後の貫通式までトンネル工事に関わらせていただき、とても嬉しかったです。自分も一緒に作っているような気になったからです。このトンネルの文字を書けたことを光栄に思います。復興や発展にこのトンネルが役立つことが楽しみです。」と感想を発表していただきました。



立丸峠工区のトンネル名称の発表



立丸峠第二トンネルの銘板除幕



終点側（宮古側）トンネル銘板



川井小学校児童の感想発表

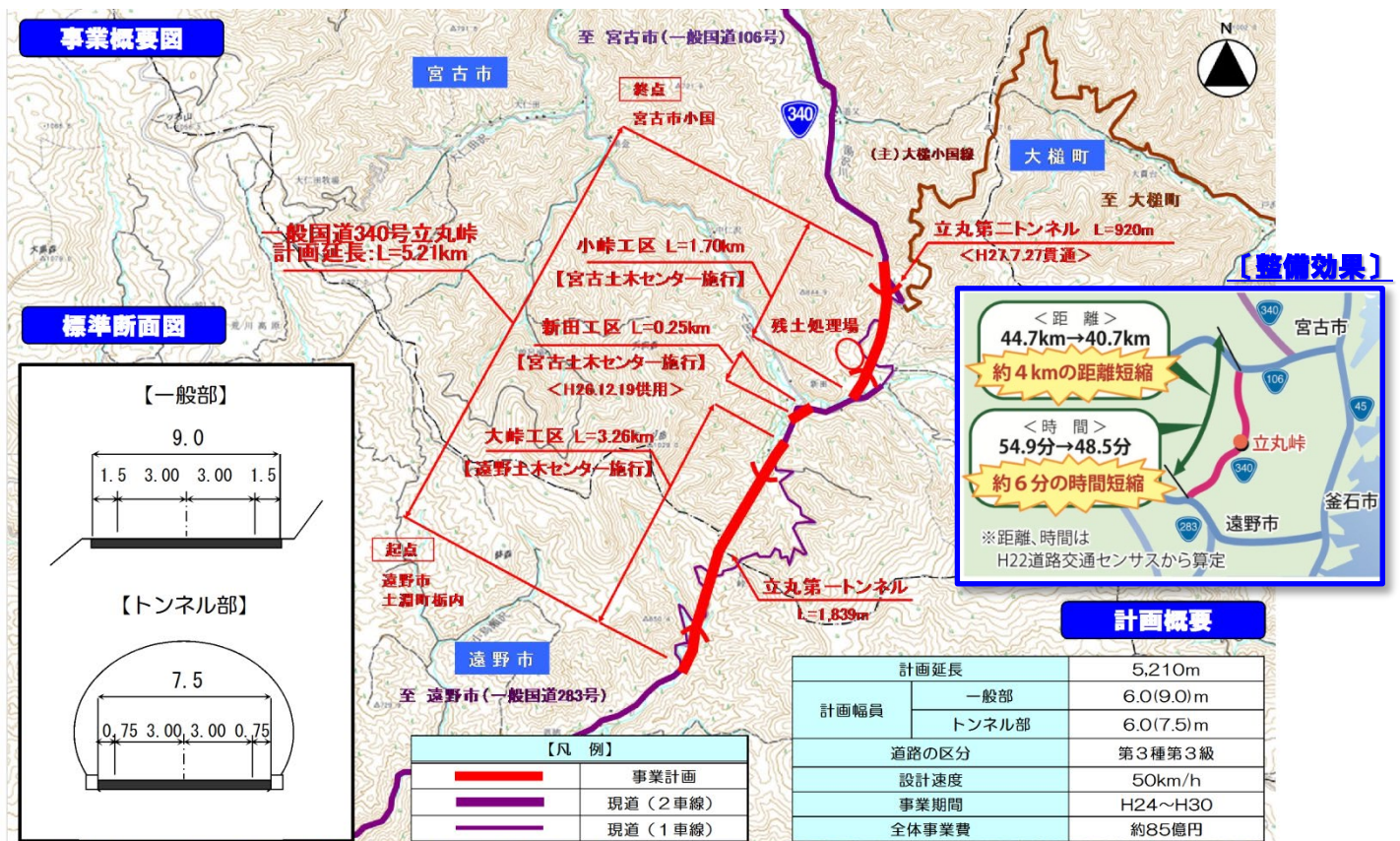
お披露目式終了後には、立丸第二トンネルが末永く地域で親しまれるトンネルになることを期待して、完成した銘板の裏側に川井小学校児童や地域住民の皆さんにメッセージを記載していただきました。このメッセージは、立丸第二トンネルとともに、地域の中で末永く残り続けます。

県では、今年を「本格復興完遂年」と位置付け、本格復興をやり遂げ、次につながるよう強力に復興を推し進めることとしており、立丸峠工区については、立丸第二トンネルを含む宮古側の小峠工区 1.7km について、平成 28 年度の供用開始を目指して工事を進めていきます。また、遠野側の立丸第一トンネルについても、引き続き、トンネル掘削工事や道路改良工事を推進し、立丸峠工区の早期全線供用に向けて全力で事業を推進して行きます。



【立丸峠工区の事業概要】

県では、岩手県東日本大震災津波復興計画に基づき、三陸沿岸地域の復興と安全・安心を確保し、災害に強く信頼性の高い道路ネットワークを構築することを目的として、三陸復興道路整備事業を実施しており、一般国道 340 号立丸峠工区は、三陸復興道路整備事業の「復興支援道路」に位置付け、県が重点的に整備を進めています。



釜石市・水海海岸水門完成！！

釜石管内で初の大型水門の復旧

沿岸広域振興局土木部

平成24年12月に着工した水海海岸水門工事が平成28年3月に完成しました。釜石管内で初の大型水門の復旧に伴い、**3月24日（木）に施設の一般公開**を行ないました。

今回の復旧では、復旧堤防高さを震災前と同じT.P+12.0mとし、**波返しや小段などをなくし、「粘り強い構造」としました**。また、水門施設については、津波警報・注意報発令時に水防団員が現地で直接水門を操作することなく、従来どおり**遠隔操作ができるシステムに復旧**しました。

位置図



<p>事業概要</p> <p>事業費：約 14.4 億円</p> <p>復旧延長：L=250m</p> <p>（右岸防潮堤 L=132m、水門工 L=35.5m、左岸防潮堤 L=82.5m）</p> <p>遠隔操作施設：1 式</p> <p>復旧堤防高さ：T.P+12.0m</p>

被災時状況



完成



開会式



防潮堤通り初め



操作室内見学



閉門状況





FDA10号機が岩手県に初飛来!

～ 名古屋線に新機材投入! 10号機はシルバー! ～



空港課

名古屋線を運航している株式会社フジドリームエアラインズでは、この3月に10号機を導入し、路線での運航を開始しました。この機体のお披露目会（FDA職員による説明等）が、本県初飛来となる3月11日（金）に開催され、美しいシルバーの機体が披露されました。

名古屋線は、3月27日（日）から1日4便に増便され、ますます便利になりますので、ぜひ、旅行にビジネスに『いわて花巻空港』をご利用ください。



飛行機は、
早くて便利!
ぜひご利用ください。



JAL×ベネッセ 体験飛行企画『明日(あした)のつばさ』を開催!

3月13日（日）に、いわて花巻空港で、日本航空株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：植木義晴、以下「JAL」）と株式会社ベネッセホールディングス（本社：岡山県岡山市、代表取締役社長：原田泳幸（えいこう）、以下「ベネッセ」）との共同企画『明日のつばさ』が開催されました。この企画は、JALとベネッセとの社会貢献事業として実施され、花巻市在住の小学生（4～6年生）40名が、『お仕事見学』や『チャーター便による遊覧飛行』などを体験しました。



県内上空の体験飛行を楽しんだ児童たち。フライト前に全員で記念写真を撮影した

※平成28年3月14日（月）付朝刊（この写真は、岩手日報社の許諾を得て転載しています）



いわて花巻空港 春季台湾との定期チャーター便運航決定!!

空港課

本県では、台湾との交流拡大に向け、花巻空港から台湾への国際定期チャーター便・定期便の誘致に取り組んでいます。今春も定期チャーター便が運航されますので、ぜひ皆様、いわて花巻空港から行く台湾の旅をお楽しみ下さい!!

平成28年春季定期チャーター便の内容

- 運航期間：5月26日(木)～6月30日(木)の週2往復
運航期間の木・日曜日、11往復22便の運航
〔木曜日出発の方は、3泊4日の行程で、日曜日に帰国〕
〔日曜日出発の方は、4泊5日の行程で、木曜日に帰国〕
- 発着時間：花巻発 11:25 ⇒ 台北着 14:30、台北発 6:00 ⇒ 花巻着 10:25
- 所要時間：往路約4時間、復路約3時間30分
- 運航機材：B737-800(158人乗り)
- その他：パスポート取得応援キャンペーンなど助成制度もありますので、岩手県空港利用促進協議会(事務局：空港課)又は県内取扱旅行代理店へお問合せください。

まだ知らない台湾へ、
いわて花巻空港から、
いわて花巻空港⇄台湾
春の国際定期チャーター便運航!
2016年5月26日(木)～6月30日(木)毎週木・日曜日運航
行きたいわん!

岩手県 岩手空港利用促進協議会 台湾観光局

あなたの知らない台湾、教えたいわん。

知らな台湾、買いたいわん!
知らな台湾、食べたいわん!
知らな台湾、遊みたいわん!
知らな台湾、観たいわん!
知らな台湾、住みたいわん!

たいわんごきょうだいプロフィール

定期チャーター便 運航!
■2016年5月26日(木)～6月30日(木)
※毎週木・日曜日運航
いわて花巻空港発 11:25
台湾桃園国際空港 着 14:30
台湾桃園国際空港 発 6:00
いわて花巻空港着 10:25
※詳しくは右記の案内電話旅行代理店へお問合せください。

パスポート取得
応援キャンペーン実施

下記条件を満たしている先着300名様に
旅行代金から5,000円をキャッシュバック!!

①県内で発行する旅券(パスポート)を取得(更新を含む)すること。
②旅券(パスポート)の発行有効日2016年3月31日以前であること。
③いわて花巻空港から台湾への定期チャーター便を往復利用して旅行すること。

※詳細については、岩手県空港利用促進協議会事務局(019-624-6330)にお問い合わせください。

楽々!安心!
おトクなツアーも続々!!

■(株)JTB東北
法人営業盛岡支店……………☎019-651-7474
盛岡店……………☎019-651-3333
イオンモール盛岡店……………☎019-648-2100
北上ツインモールプラザ店……………☎0197-65-5353
盛岡支店……………☎0197-23-7621
■(株)エイチ・アイ・エス盛岡……………☎019-626-4461

近畿日本ツーリス、名鉄観光、トップアール、農協観光、日本旅行など、お近くの県内取扱旅行代理店へお問い合わせください。

空港アクセス
花巻空港により3分!! 駐車場1,150台無料!!

出発前にご確認ください

- 忘れずに旅券をお持ちください。なお、旅券は不要です。
- 旅券の有効期限は3ヶ月以上必要です。
- 持出、持込制限がありますので、事前にご確認ください。

Time for Taiwan 思い立ったが台湾吉日
いわて花巻空港総合案内 ☎0198-26-5011
www.hna-terminal.co.jp いわて花巻 (検索)

岩手県空港利用促進協議会事務局
〒020-8579 盛岡市片平19-1(岩手県立岩手空港) ☎019-624-6330

本県への派遣職員の応援に感謝！！

～ 全国からの支援、復興に御尽力いただき ありがとう！！

県土整備企画室

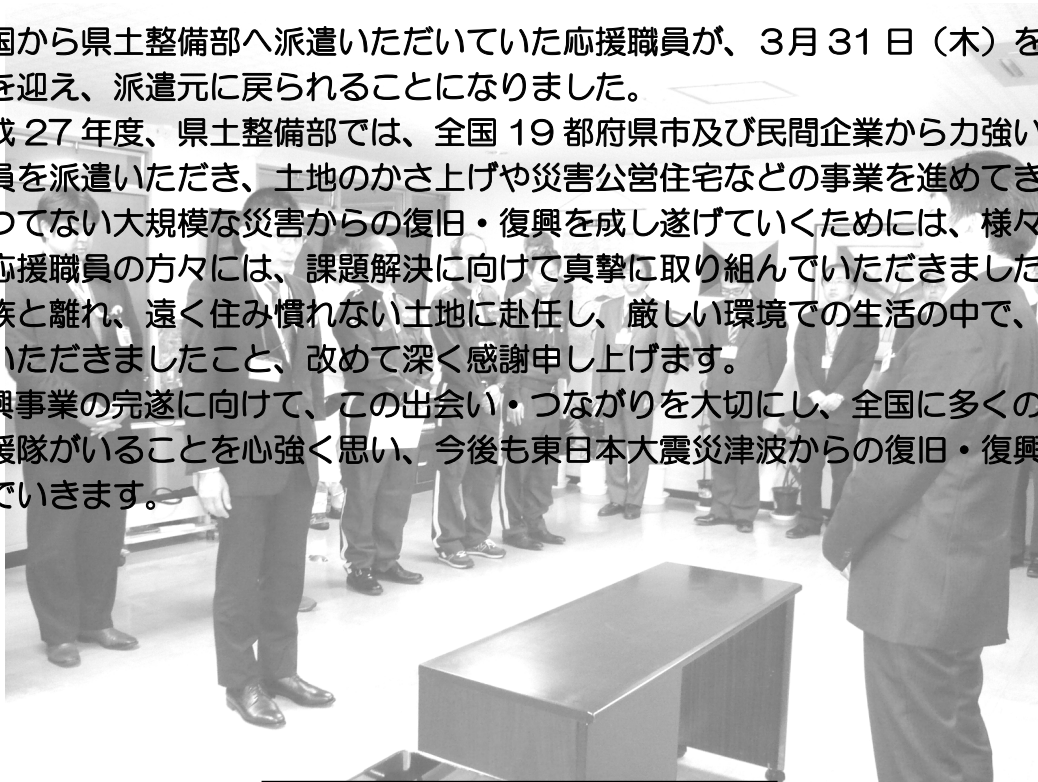
全国から県土整備部へ派遣いただいていた応援職員が、3月31日（木）をもって期間満了を迎え、派遣元に戻られることになりました。

平成27年度、県土整備部では、全国19都府県市及び民間企業から力強い84名の応援職員を派遣いただき、土地のかさ上げや災害公営住宅などの事業を進めてきました。

かつてない大規模な災害からの復旧・復興を成し遂げていくためには、様々な課題があり、応援職員の方々には、課題解決に向けて真摯に取り組んでいただきました。

家族と離れ、遠く住み慣れない土地に赴任し、厳しい環境での生活の中で、日夜業務に奮闘いただきましたこと、改めて深く感謝申し上げます。

復興事業の完遂に向けて、この出会い・つながりを大切に、全国に多くの岩手・復興の応援隊がいることを心強く思い、今後も東日本大震災津波からの復旧・復興事業に取り組んでいきます。



平成27年4月1日の激励式の様子



県庁での感謝贈呈式の様子